



11月1日、「城里町地区商工会合併契約調印式」がコミュニティセンター城里で行われました。
昨年7月に合併検討委員会、今年6月には合併協議会を設置し、33項目にわたる事項の協議を重ねてきた経

「城里町商工会」 発足に向け 合併契約書に調印



写真左から大和田会長、町長、小林会長、阿久津会長

過が報告されました。そして、大和田茂夫常北商工会長、小林宗一桂商工会長、阿久津春雄七会商工会長、立会人の金長町長らが合併契約書に署名、調印が執り行われました。
来月4月1日、会員約680名の経営安定と城里町発展への貢献をめざし、「城里町商工会」が誕生します。

ねりんピックウォークラリーで金メダル!! 所信夫さんら「しろさと」チーム

福岡県で開催されたねりんピック（全国健康福祉祭・11月12日～15日）の「ウォークラリー交流大会」において、茨城県代表として参加した所信夫さん（下青山）、加倉井芳春さん（下古内）、加藤栄さん（下古内）、小堀きみ江さん（那珂西）、関野節子さん（那珂西）の5名「しろさと」チームが見事優勝に輝きました。

ウォークラリー交流大会は、11月13日に太宰府市内で行われました。ウォークラリーは、コース図（コマ図）に従ってグループで歩き、各チェックポイントで出題されるクイズやゲームなどの課題を解決し、ゴールタイムと規定時間（参加者は知らされていない）がどれだけ近いかの時間得点と課題得点を合計して競う競技です。

チームの代表をつとめた所さんは「健康づくりのためと本当に軽い気持ちで参加させてもらった。まさか日本一になるとは思っていなかった。驚きと嬉しさでいっぱい。健康に感謝している」と笑顔で喜びを伝えてくれました。

秋のしろきた・桂の歴史ウォーク

10月30日、城北地域・森と川の交流促進協議会（城里町・常陸大宮市（旧御前山村）・茨城県）主催の「秋のしろきた・桂の歴史ウォーク」が開催されました。町内、また近隣市町村から186人が参加。鹿島市やつくば市など遠方からの参加者もいました。

桂支所を出発し、沿道の歴史資産である、大山城址、石船神社、大山寺をめぐる、大桂公園を通って戻ってくる約9kmのコースです。大山寺では、「住職による講話をいただいた後、参加者の皆さんに温かいきのこと汁が振る舞われ、大好評でした。

城里の歴史と豊かな自然にふれ、秋の風情をのんびりと楽しみながら、参加者全員が見事に完歩しました。



（メダルをかけている方のみ）写真左から加倉井さん、所さん、関野さん、加藤さん、小堀さん

「くらしの会」設立総会

10月28日（金）、城里町くらしの会の設立総会が、コミュニティセンター・城里の会議室で開かれました。全地域の町民を募り、安全で安心して暮らせる地域づくりを目指して消費者としての新しい知識を取り入れ、他団体との交流・連絡をとりながら、家庭はもちろん、広く地域社会に貢献することを目的に設立されました。

今後、地域の底力として、事業が展開されます。

なお、現在の会員は220名ですが、さらに多くの町民の方々の参加を募っています。

会長	大越 房枝
副会長	添田 昭
副会長	加藤 鉦好

防犯ポスターコンクール表彰式

10月22日（土）に笠間警察署において、全国地域安全運動の一環として、防犯ポスターコンクール表彰式が行われました。応募した笠間警察署管内の小学生の中から、笠間地区防犯協会長賞に七会西小学校1年の片岡大知さんが、佳作に同じく七会西小学校4年の小室賢生さんがそれぞれ受賞されました。



七会西小1年片岡大知さん



七会西小4年小室賢生さん



平成17年度 城里町くらしの会設立総会

真中選手を目標に

ヤクルトスワローズの真中選手、度会選手を招き、11月13日、桂コンドルズ主催の野球教室が開かれました。走塁やキャッチボールなど基本の大切さを教わり、また守備や打撃においても、一人一人にきめ細かいアドバイスをいただきました。コンドルズの選手たちにとって有意義な一日になりました。



指導を受ける子供達

水戸地区町身体障害者スポーツ大会が開催されました

10月29日（土）に友部町の大原小学校体育館において、「水戸地区身体障害者スポーツ大会」が開催されました。この大会は、身体に障害がある方々がスポーツをとおして体力の増強を図り、併せて積極的な自立と友愛の輪を広め、明るい生活の形成に寄与することを目的としています。

個人種目では、20mボールつきや、パン食い競争など、団体種目では綱引きや、紅白玉入れなど、手に汗にぎる熱戦に大きな声援が送られました。



ゲートボール大会

第一回城里町高年者クラブ連合会設立記念ゲートボール大会が、10月24日に開催されました。

この大会には、坪、沢山、岩船の各地区を勝ち抜いた7チームが参加。青空が広がるなか選手の皆さんは日頃の練習の成果を出し切り、各試合とも熱戦が繰り広げられました。

優勝 高久チーム
準優勝 孫根チーム
第3位 阿波山チーム
努力賞 栗チーム



優勝した高久チーム

三世代交流「北方小まつり」

そば打ちや昔の遊びを通して、北方小学校の児童が、保護者や祖父母、地域の人たちとの交流を深める「北方小まつり」が11月19日に行われました。

講師は北方長寿会と高久老人会の方々。そば打ちを体験したり、めんこや「マ」、あやとり等の昔遊びを教わり、高齢者との触れ合いを楽しみました。また、子どもたちが育て栽培したサツマイモを使った大学芋や天ぷら、打ちたてのそばを使ったけんちんを作り、みんなで味わいました。

児童を代表し6年生の高根達也くんは「そば打ちではお母さん方よりお爺さん、お婆さんの方が上手で経験ってすごいと思った。僕たちのためにいろいろ準備をしてくれたおかげで楽しく活動することができた。ありがとうございました」とお礼の言葉を述べました。



北方小ヘシーソー板寄贈 江幡朗さん

北方小学校において、これまでのシーソー板が1枚、劣化が進んだため、10月13日に同校保護者の江幡朗さん(高久)から新しいものが寄贈されました。木工の専門家である江幡さん手製のシーソーはとてもきれいで、子どもたちも喜んで遊んでいます。



文芸しるさと

俳句

売り出しの幟静かに冬近し
一木 雄一郎
秋の雷電まで連れて更けにけり
山崎 正行
小鳥来て水路に段差ありにけり
鯉 渕 寿美恵
真つ白な胸のナプキン七五三
飯村 昭子
着せ替し肌みどりなり菊人形
飯村 愛子
朝空を制覇してをり鯛雲
高橋 芦江
からからの落葉からからあげけり
田所 厚子
白波の砕ける荒磯石路の花
今瀬 多代美
杜鵑草葉脈に露とどまれり
和田 範子
そぞろ寒雲ひとつ無き逆さ富士
仲田 まちゑ
朝日射す葉がくれにある木守柿
仲田 こう
行く先のきまらぬ靄雲
いそべ きよ
輪台を溢れ見事な菊花展
阿久津 あい子
午後もある仕事まつ赤な林檎食ぶ
竹内 幸子
十割の新蕎麦であり香りけり
瀬谷 博子
菊香る秋の夕べや虫の音か
市川 義子
静けさを破る夜更けの秋の雷
岩下 通子

短歌

夕日背に小鳥のシルエツト並む
電線秋の訪れの風物詩なり
高堀 よしの
白秋のロブさみつつ黒土に白
秋大根の種子を蒔きたり
佐川 あや
罪深き大人と想ひテレビ見る
幼顔の兵ら銃磨きるて
杉山 みちこ
さわやかな風に香りを添えながら
色つき始まる早生りんご「つがる」
宮本 ふみ江
いつしらに金婚式なり老ふたり
迎へたる幸に掌を合はせたり
所 美恵子
女の子の赤やピンクの傘ゆれ
つつ稲穂の間の道列はゆく
山形 式妙
早々と山辺のすすき飾り付け
月の出待てば見ごとに光りぬ
藤原 千代
さ庭辺の萩の一枝撓ふ径「立
待月」の明るく照らす
青柳 京子
生れたての嬰兒が小さき両の手
を伸ばせり未来をつかむ様して
渡辺 千紗子
さわやかな風が上空の雲を払
ひて真夏からの解放訴ふ
秋山 愛子
落ち蟬がいくつありたるや庭掃
くに夏は逝きたり赤あきつ舞ふ
大森 久子
サフランの花の命は短けれど人
間にあたる薬効永きものあり
岩下 美知野
逝く秋を名残惜しむか柿の葉
は音なく一葉又散る一葉
阿良山 ウメノ

川柳

玄関の狭さに押売り立往生
山本 隆莊

茶臼岳の霧わき昇る稜線は草
紅葉せり小休止せん
富田 佐智子

小雨降る夕間に消えたJR人
気少なし清里の駅
萩谷 登喜子

直線を引きたるごとく夏逝き
て夕べ俄に鈴虫の鳴く
多田 志保子

珍しく赤子の泣く声耳に入る
となりの家の初孫らしき
坪井 きよ子

捕捉して焼きたるスズメバチの巣
に蜂の子多数死に絶えており
萩谷 登喜子

満点の星の間をゆく飛機の流
れ星とも見まがう灯
枝 不美

